

ガザ全土に大規模な飢餓が広がる中、人道支援従事者や支援対象者たちは衰弱しています

100 以上の団体が、命を救うための支援を許可するよう警鐘を鳴らしています。

イスラエル政府の封鎖によってガザの人々が飢えに苦しむ中、人道支援従事者も今や同じように食料配給の列に加わり、ただ家族を養うためだけに銃撃される危険を冒しています。物資が完全に枯渇した今、人道支援団体は、自分たちの同僚やパートナーが目の前で衰弱していくのを目の当たりにしています。

イスラエル政府が管理する支援制度、「ガザ人道財団（Gaza Humanitarian Foundation：GHF）」が支援の運営を開始してからちょうど 2 か月が経過した今¹、100 以上の団体が警鐘を鳴らし、各国政府に対して、すべての陸路を開通し、食料や清潔な水、医療物資、避難用品、燃料の供給を、国連主導の仕組みという原則を通じて再開すること、また、封鎖の終結と即時停戦の合意を強く求めます。

ある団体の代表は「“今日、私は食事をとれるだろうか？”毎朝、同じ疑問が毎朝ガザ中で響いている。」と言います。

（前述の新しい支援システムによる）ガザの食糧配給所での虐殺は、ほぼ毎日のように発生しています。7 月 13 日現在、国連によると、875 人のパレスチナ人が食糧を求めて殺害されました。うち 201 人は支援の運搬ルート上で、それ以外の人は配給場所で殺害されました。負傷者は数千人に上ります。一方、イスラエル軍は、7 月 20 日大規模な退避命令を発出し、疲弊したパレスチナ人約 200 万人を強制移動させ、ガザの面積の 12%にも満たない地域に追い込んでいます。WFP（国連食糧計画）は、現状では活動は不可能だと警告しています。戦争の手段として民間人を飢えさせることは、戦争犯罪です。

ガザのすぐ外の倉庫、そしてガザ内においてさえ、何トンもの食糧や清潔な水、医療物資、避難用品、燃料が手つかずのまま保管され、人道支援団体はこれらの支援物資へのアクセスや配送を阻まれています。イスラエル政府による完全封鎖下の制限、遅延、そして分断が、混乱、飢餓、死を生み出しています。心理ケアを行う人道支援者は、子どもたちへの壊滅的な影響についてこのように述べています。「子どもたちは両親に“天国に行きたい”と言うのです。天国には少なくとも食べ物があるからです。」

¹ イスラエル政府およびアメリカ政府は、それまで各国連機関や国際 NGO などが実施していた支援を、数組織のみに運営させることを決定し、そのうちの一つに指定されたのが GHF（ガザ人道財団）です。

医師は、特に子どもと高齢者の間で、急性栄養失調の発生率が記録的な水準に達していると報告しています。急性水様性下痢などの病気が蔓延し、市場は空っぽで、ごみは山積みになれ、大人たちは飢えと脱水症状で街中に倒れています。ガザにおける支援物資の配布は、1日平均わずかトラック 28 台分のみであり、200 万人以上いるガザの人々には到底足りず、多くの人々は数週間も何の支援を受けられていません。

国連主導の人道支援体制は機能不全に陥ったのではなく、機能停止に追い込まれているのです。

人道支援機関には、広範囲に対応するための能力と物資を有しています。しかし、アクセスが拒否されているため、支援を必要とする人々、疲弊し飢えに苦しむ自身の団体のスタッフにさえ、支援を届けることを阻まれています。7 月 10 日には、EU とイスラエルが支援拡大にむけた措置を発表しました。しかし、現場で実際の変化が見られない中で、こうした「進展」の約束は空虚に響きます。持続的な支援の流れがない毎日は、予防可能な病気ですらに多くの人々が命を落とすことを意味しています。子どもたちは、決して果たされない約束を待ちながら、飢えに苦しんでいるのです。

パレスチナの人々は、支援や停戦を待ちながら、悪化し続ける現状に目を覚ますだけという、希望と失望のサイクルに閉じ込められています。それは単に肉体的な苦痛であるだけでなく、精神的な拷問でもあります。生存そのものが、まるで蜃気楼のようにぶらさがられています。人道支援システムは偽りの約束では機能することができません。人道支援従事者は、流動的なスケジュールのもとでは活動できず、支援へのアクセスをもたらさない政治的なコミットメントを待つこともできません。

各国政府は行動の許可を待つのをやめなければなりません。現在の取り決めが機能することを期待し続けることはできません。今こそ断固たる行動を起こす時です。即時かつ恒久的な停戦を要求し、あらゆる官僚的・行政的制限を撤廃し、すべての陸路を開放し、ガザ全域のすべての人々へのアクセスを確保し、軍主導の物資配給モデルを拒否し、原則に基づいた国連主導の人道支援体制を再開させ、原則に基づいた公平な人道支援団体への資金提供を継続してください。各国は、武器や弾薬の移送停止など、封鎖を終わらせるための具体的な措置を追求しなければなりません。

支援物資の空中投下や欠陥のある援助協定といった断片的な取り決めや象徴的なジェスチャーは、何もしないことを隠すための煙幕に過ぎません。これらは、パレスチナの市民を保護し、意味のあるアクセスを大規模に確保するという、各国の法的および道義的義務に取っ

て代わることはできません。各国は命を救うことができます。救うべき命がなくなる前に、救わなければなりません。

署名団体

1. American Friends Service Committee (AFSC)
2. A.M. Qattan Foundation
3. A New Policy
4. ACT Alliance
5. Action Against Hunger (ACF)
6. Action for Humanity
7. ActionAid International
8. American Baptist Churches Palestine Justice Network
9. Amnesty International
10. Asamblea de Cooperación por la Paz
11. Associazione Cooperazione e Solidarietà (ACS)
12. Bystanders No More
13. Campain
14. CARE
15. Caritas Germany
16. Caritas Internationalis
17. Caritas Jerusalem
18. Catholic Agency for Overseas Development (CAFOD)
19. Center for Mind-Body Medicine (CMBM)
20. CESVI Fondazione
21. Children Not Numbers
22. Christian Aid
23. Churches for Middle East Peace (CMEP)
24. CIDSE- International Family of Catholic Social Justice Organisations
25. Cooperazione Internazionale Sud Sud (CISS)
26. Council for Arab - British Understanding (CAABU)
27. DanChurchAid (DCA)
28. Danish Refugee Council (DRC)
29. Development and Peace – Caritas Canada
30. Doctors against Genocide
31. Episcopal Peace Fellowship

32. EuroMed Rights
33. Friends Committee on National Legislation (FCNL)
34. Forum Ziviler Friedensdienst e.V.
35. Gender Action for Peace and Security
36. Glia
37. Global Legal Action Network (GLAN)
38. Global Witness
39. Health Workers 4 Palestine
40. HelpAge International
41. Human Concern International
42. Humanity & Inclusion (HI)
43. Humanity First UK
44. Indiana Center for Middle East Peace
45. Insecurity Insight
46. International Media Support
47. International NGO Safety Organisation
48. Islamic Relief
49. Jahalin Solidarity
50. Japan International Volunteer Center (JVC)
51. Justice for All
52. Kenya Association of Muslim Medical Professionals (KAMMP)
53. Kvinna till Kvinna Foundation
54. MedGlobal
55. Medico International
56. Medico International Switzerland (medico international schweiz)
57. Medical Aid for Palestinians (MAP)
58. Mennonite Central Committee (MCC)
59. Medicine for the People - Belgium (MPLP/GVHV)
60. Médecins Sans Frontières (MSF)
61. Médecins du Monde France
62. Médecins du Monde Spain
63. Médecins du Monde Switzerland
64. Mercy Corps
65. Middle East Children's Alliance (MECA)
66. Movement for Peace (MPDL)
67. Muslim Aid

68. National Justice and Peace Network in England and Wales
69. Nonviolence International
70. Norwegian Aid Committee (NORWAC)
71. Norwegian Church Aid (NCA)
72. Norwegian People's Aid (NPA)
73. Norwegian Refugee Council (NRC)
74. Oxfam International
75. Pax Christi England and Wales

76. Pax Christi International
77. Pax Christi Merseyside
78. Pax Christi USA
79. Pal Law Commission
80. Palestinian American Medical Association
81. Palestinian Children's Relief Fund (PCRF)
82. Palestinian Medical Relief Society (PMRS)
83. Peace Direct
84. Peace Winds
85. Pediatricians for Palestine
86. People in Need
87. Plan International
88. Première Urgence Internationale (PUI)
89. Progettomondo
90. Project HOPE
91. Quaker Palestine Israel Network
92. Rebuilding Alliance
93. Refugees International
94. Saferworld
95. Sabeel - Kairos UK
96. Save the Children (SCI)
97. Scottish Catholic International Aid Fund
98. Solidarités International
99. Støtteforeningen Det Danske Hus i Palæstina
100. Swiss Church Aid (HEKS/EPER)
101. Terre des Hommes Italia
102. Terre des Hommes Lausanne

103. Terre des Hommes Nederland
104. The Borgen Project
105. The Center for Mind-Body Medicine (CMBM)
106. The Global Centre for the Responsibility to Protect (GCR2P)
107. The International Development and Relief Foundation
108. The Institute for the Understanding of Anti - Palestinian Racism
109. Un Ponte Per (UPP)
110. United Against Inhumanity (UAI)
111. War Child Alliance
112. War Child UK
113. War on Want
114. Weltfriedensdienst e.V.
115. Welthungerhilfe (WHH)